

農林水産大臣賞

大学と連携した科学的・広域的なサルの被害対策など
地域一体となった総合的な取組

下仁田町 （代表者：下仁田町長 金井 康行） 群馬県

主な取組

下仁田町では、牛の放牧やボランティアによる緩衝帯の整備、鳥獣被害対策実施隊を中心とした捕獲技術の向上、わな開発による捕獲効率の向上等、各種特徴的な取組と関係者が連携した地域一体的な活動により被害軽減に大きな成果。

特に、隣接市町村及び大学と連携したサルのテレメトリー調査（電波発信器を用いた生息状況調査）に基づく被害対策の手法は、優良事例として全国各地へ波及。

また、被害に対する地域住民の理解と協力を得るため、農業者はもとより地域住民や小中学生を対象とした意識啓発活動を行うなど、総合的な取組を実施。